



【現状】

福島ロボットテストフィールドや東日本大震災・原子力災害伝承館など、これまで整備した拠点を核とし、産業集積や人材育成、交流人口の拡大などに一層取り組んでいく必要。

今年4月に内閣総理大臣認定を受けた福島復興再生計画に基づく福島イノベーション・コースト構想に係る各取組について、「あらゆるチャレンジが可能な地域」、「地域の企業が主役」、「構想を支える人材育成」の三つを柱として、中長期的に対応していくことが大切。

今年度の主な動き

研究開発等の推進・産業集積の促進



ワールドロボットサミット2020



企業立地セミナー



廃炉関連産業マッチング会

構想を支える教育・人材育成



大学等の「復興知」を活用した人材育成



高校生への企業・大学等と連携した教育プログラム



双葉郡の小中高生への教育活動支援

浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進



地域住民向けセミナーの開催



あ、未来変わるかも。浜通り地域や構想に関する情報発信



東北中央自動車道(相馬～福島)全線開通

拠点の運営等への継続的な支援



福島ロボットテストフィールド



東日本大震災・原子力災害伝承館



福島イノベ構想シンポジウムの開催

イノベ機構への支援

【R4当初予算・R3補正予算の関連事業(主なもの)】 凡例：政府予算案計上額(R3当初予算額)

国際教育研究拠点の実現

・国際教育研究拠点推進事業 【復興庁】25億円 (新規)

研究開発等の推進・産業集積の促進

<廃炉> (R3補正) (R2補正)
 ・廃炉・汚染水・処理水対策事業 【経済産業省】176億円 (192億円)

<ロボット・ドローン>
 ・次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト 【経済産業省】29.3億円 (新規)

<エネルギー・環境・リサイクル>
 ・福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金 【経済産業省】52.3億円 (52.3億円)

・産業活動等の抜本的な脱炭素化に向けた水素社会モデル構築実証事業 【経済産業省】73.1億円 (73.1億円)

<農林水産業>
 ・農林水産分野の先端技術展開事業 【農林水産省】6.7億円 (6.7億円)

<医療関連>
 ・福島医薬品関連産業支援拠点化事業 【経済産業省】23.3億円 (30.0億円)

<航空宇宙>
 ・航空宇宙産業集積推進事業(地方創生推進交付金) 【内閣府】1,000億円の内数(1,000億円の内数)

<全般>
 ・地域復興実用化開発等促進事業 【経済産業省】59.1億円 (57.0億円)
 ・福島再生加速化交付金 【復興庁】701億円の内数(721億円の内数)

構想を支える教育・人材育成

・福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 【文部科学省】1億円 (1億円)

・福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成基盤の構築(復興知の集積と進化) 【文部科学省】4億円 (4億円)

浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進

・【再掲】福島再生加速化交付金(浜通り地域等産業発展環境整備事業) 【復興庁】701億円の内数(721億円の内数)

拠点の運営等への継続的な支援

・福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業(福島ロボットテストフィールド) 【経済産業省】10.5億円の内数(11.0億円の内数)

・原子力に関する国民理解促進のための広聴・広報事業(原子力災害等に関する情報発信・研修事業) 【経済産業省】6.0億円の内数(7.1億円の内数)

福島イノベーション・コースト構想推進機構への支援

・【再掲】福島イノベーション・コースト構想推進基盤整備事業 【経済産業省】10.5億円の内数(11.0億円の内数)

(注)表示単位未満の端数については四捨五入、上記金額には本県以外も含む場合がある。